

けやきの森ブリティッシュブラスバンド、クリスマスコンサート 2015「星空に想いを馳せて」。
まずは遠い昔、はるか彼方の銀河系からお話をはじめましょう。

地球の西暦で 1977 年にシリーズ第一作が公開され、先日最新作が封切られた映画と言えば…
そうスター・ウォーズです。ジョージ・ルーカスの指揮による壮大なスペースオペラは現在ま
でに 7 作が公開され、その度に大きな話題を呼んできました。正に映画史に残るきら星と言え
るでしょう。

その伝説は、ご存じジョン・ウィリアムズのこの曲によって幕を開けたのです。

1. スター・ウォーズ メインテーマ

はるか彼方の銀河系から、舞台は地球へと戻ります。

今から 430 年前のイギリス。女王エリザベス I 世の治めるこの国は黄金の時代を迎えていまし
た。シェイクスピアらが活躍するイギリス・ルネサンス、中世の芸術文化が花開く少し前のお
話です。

そんな国の首都ロンドンに、一人の青年がおりました。彼の名はジャイルズ・ファーナビー。
一度は作曲を志したものの、今はヴァージナルという鍵盤楽器を作る修行中の職人です。

クリスマスが近いこの日も、彼は楽器作りに追われていました。外はずでに夜。雪がちらちら
と降り続け、外の足音もまばらです。そんな中、パーティが開かれている近くの屋敷からは、
古いスペインの舞曲、スパニョレッタが聞こえてきます。

2-1. 古いスパニョレッタ

流れてくる音楽を聞いているうちに、ファーナビーはついうとうとし始めました。寒い冬のロ
ンドンですが、暖炉の火は赤々と燃え、部屋の中には穏やかな時間が流れています。彼の意識
はだんだんと薄らぎ、夢の世界へと誘われてゆきました。

2-2. 夢

夢の中でファーナビーは子供に戻り、おもちゃで遊んでいました。彼の父親は大工だったので、
手作りのおもちゃを作ってくれたのです。木の剣や盾、兵士や馬の人形…子どもの頃に遊びま
わった空想の世界が、夢の中で鮮やかによみがえります。

2-3. おもちゃ

ここで 1 つ、ギリシア神話のお話をいたしましょう。

太陽の神アポロンは、ある日、愛の神エロースの体と弓矢の小ささをからかいます。これに怒
ったエロースは、愛情を芽生えさせる金の矢をアポロンに、愛情を拒ませる鉛の矢を近くに
いた妖精ダフネに放ちます。こうしてアポロンはダフネに求愛し続け、ダフネはそれを拒み続
けることになりました。やがてアポロンに追い詰められたダフネは、父である河の神に姿を変
えてくれるよう願います。願いが受け入れられ、月桂樹に姿を変えるダフネ。悲しむアポ
ロンは、

愛の証として月桂樹の冠を永遠に身に着けることとなります。

夢の続きで、ファーナビーは一人の女性と再会していました。それは過ぎた恋の相手。彼女と話す度に思いは高まりましたが、結局実を結ぶことなく終わってしまいました。揺れ動く距離に一喜一憂した日々も、どこか懐かしい思い出として彼の中にあるようです。

2-4.話してダフネ

夢から目を覚ましたファーナビーは、少し休憩をとることにしました。眠気覚ましに窓を開けると、冷たい風が心地よく頬をなでてゆきます。楽器作りを始めて3年。作業の手を休めて一息つくつと、日々の中で積み重なった思いやアイデアが繋がるように思い起こされます。

2-5.休息

休憩をとるファーナビーの耳に、オルガンの音が聞こえてきました。それは当時フランスで生まれ、オランダから伝わった流行歌。ヨーロッパは戦争の多い時代でしたが、音楽は海を越え、遠くイギリスまで伝わってきたのです。楽器はいつか壊れてしまうけれど、音楽は残り続けることができる。ファーナビーの胸に、忘れていた作曲への思いがよみがえります。

ふと気づくと雪は止んでおり、雲の切れ間には星が光っていました。

2-6.新しいサ・フー

ファーナビーの時代から400年。その間に様々な音楽のスタイルが生まれ、交ざり合い、19世紀に新しいジャンルが生まれました。ジャズです。ダンスミュージックとして誕生したジャズは時と共に変化し、都会的で洗練されたものとなっていきます。

そんなジャズの雰囲気を持つのが次にお送りする「ミッドナイト・ユーフォニアム」です。作曲家のゴフ・リチャーズはイギリスの生まれ。ブラスバンドや吹奏楽に多くの曲を書いた人気作曲家ですが、金管アンサンブル曲「高貴なる葡萄酒を讃えて」の作者といった方がピンと来る方もいるかも知れません。

そんな彼が、あるユーフォニアム奏者のために書いたのがこの曲です。金管楽器の使い方に長けたリチャーズの手によって、この楽器の魅力が存分に引き出されています。ジャズの雰囲気をまとったユーフォニアムの音色は、星空をひっくり返したような都会の夜に、豊かさと落ち着きを添えてくれるでしょう。

それでは、ゴフ・リチャーズ作曲「ミッドナイト・ユーフォニアム」。渡辺美穂さんのソロでお送りします。

3.ミッドナイト・ユーフォニアム

「ミッドナイト・ユーフォニアム」、渡辺美穂さんのソロでお送りしました。

さて、今日の真夜中、東の空に一つの星が上ります。太陽系最大の惑星、木星です。「星空に想いを馳せて」、最後はグスターヴ・ホルスト作曲、組曲「惑星」より“木星”をお送りします。作曲家ホルストは19世紀のイギリスに生まれました。ロンドンの音楽院で作曲とトロンボーンを学び、その後は音楽教師として学校で教える傍ら作曲を行っていました。合唱曲やイギリスの民謡を元にした作品が多く、吹奏楽の分野でも大きな足跡を残しています。

そんなホルストがこの組曲を構想したのは、知人に教わった星占いの影響があると言われています。それまでの作品と趣が異なるこの曲を、本人は当初それほど優れたものとは見ていなかったようです。しかし壮大で色彩豊かなこの作品は人気を博し、今日ではホルストの代表作となっています。組曲の中でも今回演奏する「木星」の人気は高く、中間部のメロディは歌詞がつけられ単独の作品としてしばしば歌われます。多くの人に親しまれ、愛されるこの曲は、ホルストというサンタクロースを通じて贈られた、星からのプレゼントなのかも知れません。それではグスターヴ・ホルスト作曲、組曲「惑星」より“木星”をお送りします。

4.木星